

# 第51回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月20日(土)	試合番号	B8	回戦	2回戦
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Bコート		

Aチーム			Bチーム		
京田辺市立大住中学校(京都)			氷見市立北部中学校(富山)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
27	15	前半	8	21	
	12	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

氷見北部は2回戦目、大住は初戦となる試合。大住のスローオフから始まる。氷見北部のミスから大住が速攻で先制。大住13番の長身を生かしたポストで得点。さらに大住は逆速攻で追加点。対する氷見北部は2番のカットインで初得点。前半4分で4-1と大住がリード。その後氷見北部6番が退場。前半5分で氷見北部は一人少ない状態となる。そこを狙って大住7番ロングシュートや逆速攻で連続得点を決める。前半9分、氷見北部はタイムアウトを取り気持ちを切り替える。そして氷見北部4番右サイドからの得点。さらに大住の度重なるポストプレイにDFは粘って守り切る好守備がみられる。しかし大住司令塔11番が相手DFの動きをよく見て冷静なパス出しやインターセプトで得点につなげる。氷見北部も負けじと個人技やコンビネーションプレイ、見事なスカイプレイで着実に得点を重ねる。前半22分、大住タイムアウトを取る。その後は大住10番の力強いロングシュート、そして2番から7番への見事なスカイプレイがきまり15-8大住リードで前半を終えた。

後半開始10分、氷見北部はポストシュートや大住ミスからの逆速攻、右サイドからの連続得点などで18-15と徐々に追い上げる。しかし、大住も13番のポストシュート、さらにダブルポストに切り替えてのポストプレイや速攻で、後半15分23-16と引き離す。その後は一進一退が続き後半19分、氷見北部のタイムアウト。その後氷見北部はバックセンター10番と11番をマンツーマンDFに切り替え、果敢にプレッシャーをかける。しかし、大住の緻密なセットプレイからの得点でなかなか点差が縮まらず試合終了。大住が27-21で氷見北部を下し勝利した。

記載者名

波間 直美